



2023年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(連結)

2022年11月8日

上場会社名 科研製薬株式会社

上場取引所 東

コード番号 4521 URL <https://www.kaken.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀内 裕之

問合せ先責任者 (役職名) 総務部長 (氏名) 近藤 和宏

TEL 03-5977-5002

四半期報告書提出予定日 2022年11月11日

配当支払開始予定日

2022年11月30日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日～2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	36,819	2.0	8,209	9.2	8,555	7.9	5,964	11.3
2022年3月期第2四半期	37,588	2.2	9,036	7.6	9,290	7.2	6,721	7.0

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 6,209百万円 (15.0%) 2022年3月期第2四半期 7,306百万円 (10.2%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	158.34	
2022年3月期第2四半期	176.24	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	167,307	140,384	83.6
2022年3月期	165,181	138,325	83.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 139,806百万円 2022年3月期 137,747百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期		75.00		75.00	150.00
2023年3月期		75.00			
2023年3月期(予想)				75.00	150.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日～2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	76,400	0.5	15,000	12.1	15,500	11.6	12,000	25.7	320.23

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(会計方針の変更)」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2023年3月期2Q	45,939,730 株	2022年3月期	45,939,730 株
期末自己株式数	2023年3月期2Q	8,466,470 株	2022年3月期	8,121,361 株
期中平均株式数(四半期累計)	2023年3月期2Q	37,668,779 株	2022年3月期2Q	38,138,439 株

(注)期末自己株式数には、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式が含まれております(2023年3月期2Q 33,400株、2022年3月期 38,500株)。また、株式給付信託(BBT)が保有する当社株式を、期中平均株式数の計算において控除する自己株式に含めております(2023年3月期2Q 36,633株、2022年3月期2Q 39,051株)。

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は、四半期決算短信とあわせて、当社ホームページに掲載する予定であります。

添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループの当第2四半期連結累計期間の業績は、減収減益となりました。

売上高は 36,819 百万円(対前年同期比 2.0%減)となり、その減収の主たる要因としては、薬価改定の影響があげられます。

利益面では、売上高の減少及び販売費及び一般管理費の増加等により、営業利益は 8,209 百万円(対前年同期比 9.2%減)、経常利益は 8,555 百万円(対前年同期比 7.9%減)、親会社株主に帰属する四半期純利益は 5,964 百万円(対前年同期比 11.3%減)となりました。販売費及び一般管理費が増加した主たる要因は、研究開発費が対前年同期比 8.0%増加し、4,330 百万円となったためであります。

セグメントごとの経営成績は、次のとおりであります。

①薬業

医薬品・医療機器につきましては、関節機能改善剤「アルツ」、癒着防止吸収性バリア「セプラフィルム」等の売上減少により減収となりました。その背景としましては、薬価改定の影響等があげられません。

農業薬品につきましては増収となりました。

この結果、売上高は 35,600 百万円(対前年同期比 2.2%減)、セグメント利益(営業利益)は 7,592 百万円(対前年同期比 9.6%減)となりました。

なお、海外売上高は 3,385 百万円(対前年同期比 16.7%増)となりました。

②不動産事業

不動産事業の主たる収入は文京グリーンコート関連の賃貸料であります。売上高は 1,219 百万円(対前年同期比 2.3%増)、セグメント利益(営業利益)は 616 百万円(対前年同期比 2.9%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末における総資産は 167,307 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,126 百万円の増加となりました。これは主に、有価証券の増加によるものであります。

負債は 26,922 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 67 百万円の増加となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

また、純資産は 140,384 百万円となり、前連結会計年度末に比べ 2,059 百万円の増加となりました。これは主に、利益剰余金の増加によるものであります。

自己資本比率は、83.6%(前連結会計年度末 83.4%)となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ 842 百万円増加し、75,467 百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における営業活動によるキャッシュ・フローは、6,427 百万円の収入となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における投資活動によるキャッシュ・フローは、1,410 百万円の支出となりました。これは主に、有形固定資産の取得によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

当第2四半期連結累計期間における財務活動によるキャッシュ・フローは、4,174百万円の支出となりました。これは、配当金の支払と自己株式の取得によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績につきましては、売上高は、薬価改定の影響はあるものの、原発性腋窩多汗症治療剤「エクロック」等が伸長することから、全体としては増収を見込んでおります。利益につきましては、前期発生しました特別損失が今期は発生しないことなどから増益となる予定であります。売上高は76,400百万円、営業利益は15,000百万円、経常利益は15,500百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は12,000百万円を見込んでおります。2022年5月11日に公表した業績予想は変更しておりません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	61,025	60,768
受取手形、売掛金及び契約資産	20,260	20,541
有価証券	13,599	14,699
商品及び製品	5,807	6,850
仕掛品	2,964	2,619
原材料及び貯蔵品	6,209	6,686
その他	746	859
貸倒引当金	—	△0
流動資産合計	110,613	113,024
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	17,142	16,718
その他（純額）	8,591	8,466
有形固定資産合計	25,734	25,185
無形固定資産		
仕掛研究開発	7,300	7,300
その他	936	991
無形固定資産合計	8,236	8,291
投資その他の資産		
投資有価証券	17,093	17,398
その他	3,503	3,407
投資その他の資産合計	20,596	20,805
固定資産合計	54,567	54,282
資産合計	165,181	167,307

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	5,861	6,656
電子記録債務	78	105
短期借入金	3,850	3,850
未払法人税等	2,436	2,631
賞与引当金	984	922
その他	5,838	5,068
流動負債合計	19,049	19,234
固定負債		
株式給付引当金	106	70
退職給付に係る負債	5,039	4,945
繰延税金負債	2,229	2,229
その他	431	443
固定負債合計	7,806	7,688
負債合計	26,855	26,922
純資産の部		
株主資本		
資本金	23,853	23,853
資本剰余金	11,406	11,406
利益剰余金	126,347	129,472
自己株式	△28,714	△30,025
株主資本合計	132,893	134,707
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,551	4,765
退職給付に係る調整累計額	301	333
その他の包括利益累計額合計	4,853	5,099
非支配株主持分	578	578
純資産合計	138,325	140,384
負債純資産合計	165,181	167,307

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	37,588	36,819
売上原価	16,588	16,432
売上総利益	20,999	20,387
販売費及び一般管理費		
給料	2,877	2,815
賞与及び賞与引当金繰入額	640	606
退職給付費用	187	170
研究開発費	4,008	4,330
その他	4,248	4,255
販売費及び一般管理費合計	11,963	12,178
営業利益	9,036	8,209
営業外収益		
受取利息	3	3
受取配当金	214	233
補助金収入	—	76
その他	60	45
営業外収益合計	278	358
営業外費用		
支払利息	8	8
為替差損	6	—
その他	9	3
営業外費用合計	23	12
経常利益	9,290	8,555
特別利益		
固定資産売却益	195	2
投資有価証券売却益	—	1
特別利益合計	195	4
特別損失		
固定資産除却損	49	25
減損損失	—	304
特別損失合計	49	330
税金等調整前四半期純利益	9,436	8,229
法人税等	2,714	2,265
四半期純利益	6,721	5,964
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	6,721	5,964

(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	6,721	5,964
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	545	213
退職給付に係る調整額	39	31
その他の包括利益合計	585	245
四半期包括利益	7,306	6,209
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	7,306	6,209
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	9,436	8,229
減価償却費	1,230	1,233
減損損失	—	304
のれん償却額	—	11
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△56	△48
受取利息及び受取配当金	△217	△236
支払利息	8	8
有形固定資産除却損	49	25
有形固定資産売却損益 (△は益)	△195	△2
売上債権の増減額 (△は増加)	△67	△382
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,021	△1,175
仕入債務の増減額 (△は減少)	△1,407	821
その他	455	△456
小計	7,214	8,332
利息及び配当金の受取額	217	236
利息の支払額	△8	△8
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	△1,989	△2,133
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,434	6,427
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,481	△1,114
有形固定資産の売却による収入	704	2
無形固定資産の取得による支出	△184	△145
投資有価証券の売却による収入	—	5
その他	△220	△158
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,182	△1,410
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の純増減額 (△は増加)	△2,412	△1,339
配当金の支払額	△2,874	△2,835
財務活動によるキャッシュ・フロー	△5,287	△4,174
現金及び現金同等物に係る換算差額	—	—
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△1,035	842
現金及び現金同等物の期首残高	77,305	74,625
現金及び現金同等物の四半期末残高	76,270	75,467

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、当第2四半期連結累計期間において、2022年5月11日開催の取締役会決議に基づき、自己株式を350,000株、1,338百万円取得いたしました。

なお、当第2四半期連結会計期間末における自己株式は8,466,470株、30,025百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することといたしました。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	35,698	—	35,698	—	35,698
製品の販売等に関する ライセンス契約	698	—	698	—	698
顧客との契約から生じる 収益	36,396	—	36,396	—	36,396
その他の収益	—	1,192	1,192	—	1,192
外部顧客への売上高	36,396	1,192	37,588	—	37,588
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	36,396	1,192	37,588	—	37,588
セグメント利益(営業利益)	8,401	635	9,036	—	9,036

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報並びに収益の分解情報

	報告セグメント			調整額 (百万円)	四半期連結損益 計算書計上額 (百万円)
	薬業 (百万円)	不動産事業 (百万円)	計 (百万円)		
売上高					
商品及び製品の販売	34,649	—	34,649	—	34,649
製品の販売等に関する ライセンス契約	951	—	951	—	951
顧客との契約から生じる 収益	35,600	—	35,600	—	35,600
その他の収益	—	1,219	1,219	—	1,219
外部顧客への売上高	35,600	1,219	36,819	—	36,819
セグメント間の内部 売上高又は振替高	—	—	—	—	—
計	35,600	1,219	36,819	—	36,819
セグメント利益(営業利益)	7,592	616	8,209	—	8,209

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「薬業」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第2四半期連結累計期間においては304百万円であります。